

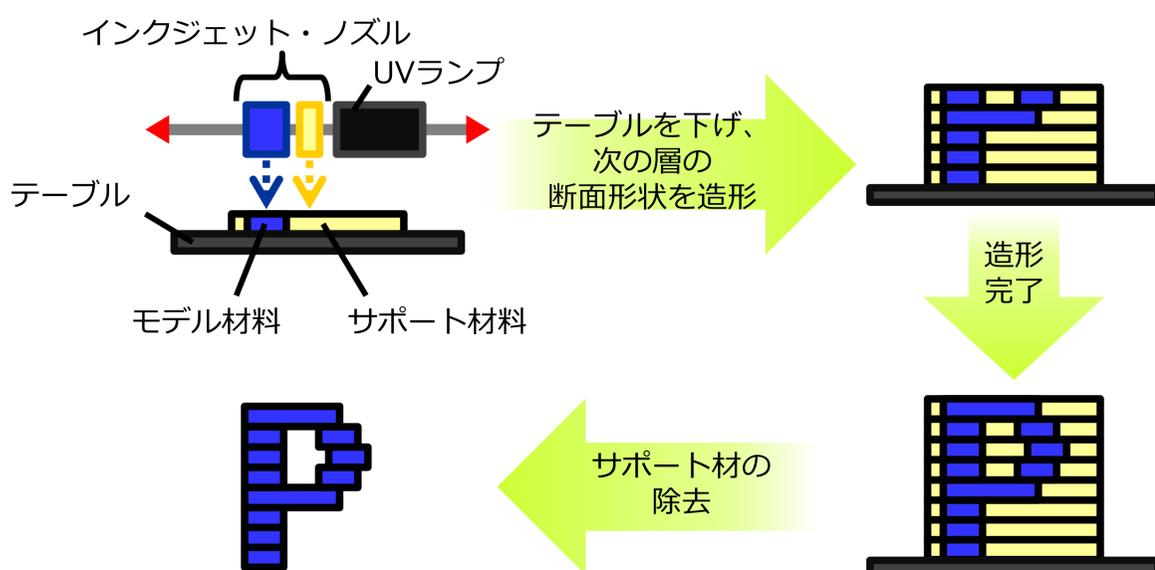


■ 概要

構造作成ソフト(3D CAD)によって作成したデータを基に、立体構造物を造形する装置です。プラスチックやゴムのような特徴を持つ様々な樹脂を使用して、安価に構造物を試作することができます。作製物はラッカー系塗料により塗装可能です。

■ 原理

スライスした3Dデータの一層ごとに紫外線硬化樹脂を噴きつけ、UVランプを照射することで樹脂を硬化させます。その後トレイを下げ、これらの動作を繰り返すことによってモデルを造形します。



■ 仕様

モデル材料	硬質透明材料、ゴムライク材料、汎用透明材料、硬質不透明材料、ポリプロピレンライク材料、高耐熱材料
造形可能サイズ	340 x 340 x 200 mm
造形方式	インクジェット
積層ピッチ	16 μm
精度	50mm未満のモデル : 20~85 μm フルサイズモデル : 最高200 μm
対応3D CADフォーマット	STL

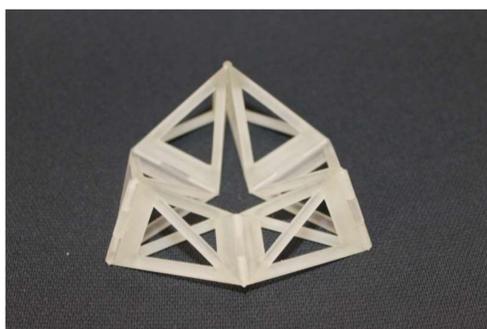
■ 製作物の例



モンキーレンチ



変形メビウスの輪



カレイドサイクル



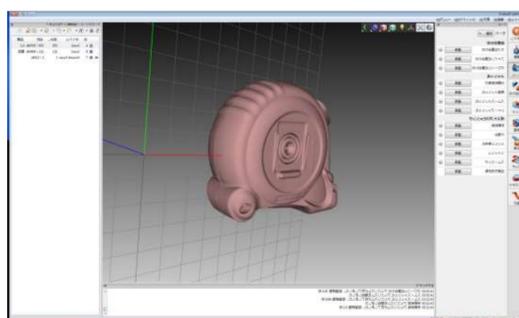
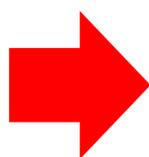
継ぎ目なしチェーン

■ 3Dスキャナー

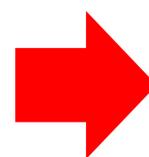
3Dスキャナーを使用することにより、物体を3Dデータ化し造形することができます。



スキャン



3Dデータ化



造形

■ 活用例

- ・ 製品模型(モック)の作製
- ・ 光学治具の作製
- ・ 機械部品の試作
- ・ 樹脂用鋳型の作製

■ 利用料金 (学外利用者のみ)

モデル材料：1g あたり 33~55円

サポート材料：1g あたり 18円

※樹脂の使用量による実費をいただきます